



幸せの源

大田区立蓮沼中学校 三年 鈴木 佑佳

よく幸せという言葉が耳にしますが、幸せって何でしょう。私は税金のおかげで幸せを感じることがありました。

私は七人兄弟で二人の姉と三人の妹、一人の弟がいます。いつも家中はうるさく、賑やかで、喧嘩をして泣いたり、楽しいことをして笑ったりする毎日を過ごしています。時に私が勉強したり、本を読んでいる時に喧嘩や笑い声が、聞こえると「うるさいな」と怒ってしまう時があります。しかし唯一一家の中が静かになる時があります。それは風邪や病気に、静かに寝込む日々が続きます。風邪や病気にかかると母が病院に連れて行ってくれます。病院に行ったら、保険証と診察券を出します。一人一人を診察してくれて、検査をして、それにあった薬を処方してくれます。本来ならば、たくさんの兄弟を丁寧に診ていただいた病院、何種類もの薬を何日分も出してくれた薬局にはたくさんのお金を払わなければいけないと思っていましたが、母は支払いをせず、私たちは看護師さんたちに「お大事にしてください」と言われ、家に帰りました。なぜ支払いせずに済んだのか、それは税金のおかげです。税金があつて保険が効くから病院でお金を払わずに済みましたが、もし税金がなかったら

保険が効かないので多額な金額を払うことになっていたかもしれません。何円かかるかはわかりませんが、何百円、何千円で済むものではないと思います。一人何万円かかるとして、私の兄弟七人分病院にかかったら、合計で何十万円になってしまいます。私の家族は兄弟が多い分教育費や食費なども多くかかってしまいます。もし税金制度がなければ多額の医療費が払えず病院にいけなかったかもしれません。病院に行かなかったら今、健康で元気でいられたかもしれないかもしれません。もしかしら、今命がなかったかもしれません。税金があるからこそ、病気や風邪を治せて、また幸せな日々が私の家に戻ってきます。

今回、税金について調べる機会があったので沢山調べてみると、税のおかげで何気ない日常も当たり前ではなく幸せな日々だと深く感じました。また普段では気づかない幸せに気づくことができました。私は最初消費税しか知らず、税金はお金とらえ悪いイメージでした。しかし、いろいろ調べていくうちに税金は幸せなものだと見方が変わりました。今は消費税くらいしか納税しておらず、税金に支えられて生きている立場です。税金によって通える学校で沢山勉強して立派な納税者になることが一番の恩返しだと思います。そして、税金についての正しい情報を兄弟にも友達にも多くの人に伝えてみんなが笑顔で納税できる社会にしていきたいです。